

## 議長コラム Vol.10(令和4年2月号)

### 「宮崎市の新たな船出」

令和4年1月23日に行われました宮崎市長選挙において、清山知憲氏(40歳)が当選を果たし、宮崎市政最年少の市長となりました。

清山市長は、前回の宮崎市長選挙で現職に敗れましたが、その後、地道な活動をしなが、医者として新型コロナウイルスに向き合ってきました。

だからこそ、第6波で感染者が急増し、高止まりしている宮崎市の状況を素早く判断し、市民の生命と財産を守る為に、知恵を出していただけると期待をしています。

市議会と行政は車の両輪と言われますが、我々はアクセルにもブレーキにもなれる存在として、清山市長とは向き合っていきたいと思ひます。

また、40歳という若さは宮崎市にとって大きな武器であり、楽しみでもあります。清山市長には、自分の信念を曲げずに宮崎市勢発展のため、市民の幸せのために突き進んでいただきたいと願ひます。

### 「宮崎市の新たな船出を共に！」



戸敷市長は令和4年2月5日で退任となりましたが、就任当初から口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火、東日本大震災、熊本地震等、そして新型コロナウイルスなど、多くの災害に真摯に向き合い、市民目線、現場主義で市民の命を守って来られました。

今後も、宮崎市の良きアドバイザーとして宮崎市の発展にご尽力頂くことを願っております。

「3期12年間お疲れ様でした。」

